

また来たいと思わせる図書館 に向けての提言書

平成27年1月

戸田市議会 文教・建設常任委員会

はじめに

図書館は今、従来の静かに本を読んだり、勉強したりするための施設だけでなく、人の集まる場所として進化している。

改革の進んだ図書館は、その機能を十二分に発揮することによって「地域を支える情報拠点」と位置づけられ、「地域や住民に親しまれる集いの場」として認識されつつある。

当委員会の図書館改革のきっかけは、『はなぼん』（著者：小布施町立図書館「まちとしょテラス」前館長・花井裕一郎氏）という一冊の本との出逢いであり、同図書館を最初の視察先とした。その後、当委員会主催で、戸田市立図書館初のクリスマスイベントとして、花井氏の講演とミニコンサート、出前カフェを開催するに至った。以降、利用の多い、先進的な取り組みを行っている全国各地の図書館を視察し、さらに、本市図書館と共催で募集した図書館利用者の意見を参考にしながら、2年にわたり調査研究を重ねてきた。

本市においても、図書館を訪ねるごとに、「館長への手紙」の実施や喫煙所の移設など、改良の取り組みは増えてきたが、運営側の意識や住民意識を変えるまでの改革には至っていない。

理想の図書館に近づけるために、居心地の良い「滞在したい図書館」、本を通して「わくわくする図書館」に向けて、当委員会の活動成果を提言書としてここにまとめる。



▲ 花井裕一郎氏の講演
「また来たいと思わせる場のつくりかた」



▲ 委員による発表
「みんなの声で変わる図書館」

短期（現在の委員任期中）

- 話題のコーナーの充実
- 館内・館外ディスプレイの充実
- ものがたりレシピを給食に活用
- 空き部屋の有効利用
- 子どもの本のそばにママ用本の配置
- BGM・館内放送について
- 家庭の不要本の活用
- 飲み物の持ち込み
- 飲食コーナーのテーブルクロスや絵などの装飾
- 図書館職員・司書と市民との交流
- イベントの開催

話題のコーナーの充実

最新のニュースや話題について、関連の資料や書籍を取り上げて展示



◀ まちに興味を持ってもらうために、地元のニュースを紹介するプレートがさりげなく見やすいように設置されていた。

(石狩市民図書館)



◀ NHKの番組「プロフェッショナル」で紹介された人や仕事の本を集めたコーナー

宮崎駿氏の作品やイラストレーターになるための本など関連本をディスプレイ
(石狩市民図書館)



▲平成26年4月30日に前立腺がんで亡くなられた、渡部淳一さんの特集を写真等を添えてすぐに展示(石狩市民図書館)



▲ソチオリンピック特集の展示
(伊万里市民図書館)



▲ポスターに関連する本がすぐそばに展示
(小布施町立図書館)

館内・館外ディスプレイの充実

- ・わかりやすい館内案内や誘導の設置
- ・おすすめ本のポップ設置や図書館・郷土博物館イベントに関連する書棚へのイベント案内貼付など、“本との出会い”を生む工夫
- ・道路に面した掲示板などを活用したイベントポスター・各種告知の効果的な掲示
- ・明るい図書館の演出に向けた館内・館外の照明の充実



▲札幌市中央図書館の案内板



▲部屋の入り口に目線の行きやすい
高さに情報を掲示(石狩市民図書館)



▲分野ごとのおすすめ本棚
(伊万里市民図書館)



▲壁面に市民の手作り布絵本
(伊万里市民図書館)



▲ヤングコーナーの
進学・就職応援と
貸アートコーナー
(伊万里市民図書館)



▲小布施町立図書館の
今月の企画棚

ものがたりレシピを給食に活用

- 福岡県の小郡市立図書館が「ものがたりレシピ給食」という取り組みを行っている。

これは、小中学校の給食に絵本で登場する食べ物を取り入れようというもので、2011年の「子ども読書の日」(4月23日)に開始された。

例えば、「11ぴきのねことあほうどり」(馬場のぼる作)で登場するコロッケや、「キャベツくん」(長新太作)にちなんだキャベツのサラダなどが給食のおかずとなる。

身近な食を通して本に親しみを持ってもらうのが目的。

協力が得られた学校では市長や栄養士などによる絵本の読み聞かせも行われたり、図書館ではテーマ展示の実施やチラシの作成・配布も実施。

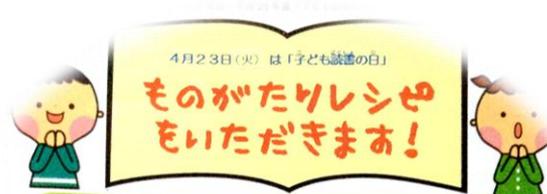
- 戸田市では、図書館司書やボランティアによる本の紹介や読み聞かせを行うことで、栄養士との連携も期待できる。



▲絵本「つきよのキャベツくん」に出てくるトンカツとキャベツの献立



▲絵本「100万回生きたねこ」の主人公の猫の好物のツナと卵を使ったふりかけの献立



みなさんにたくさんの本と出会い、楽しんでほしいと、2001年(平成13年)に「子ども読書の日」が定められました。小郡市では今年も、4月23日の「子ども読書の日」に合わせて、物語の中の献立(ものがたりレシピ)が学校給食に登場しますよ！今回は、絵本「おぼけのてんぷら」(せな けいこ/作・絵 ポプラ社)から、うさこがつくった「てんぷら」の登場です。あまりのおいしさに、おぼけがつまみくいをした「てんぷら」。

さあ、給食にはなんの「てんぷら」がでてくるでしょう？どんな味がするのかな？



「おぼけのてんぷら」
せな けいこ/作・絵 ポプラ社

このほかにも、おいしいそうな食べものがある本がたくさんあります。ぜひ、お話を聞いて、読んでみたい本が学校図書館や市立図書館で見つかるように努めます。



しょうゆでてんぷらをあげるうさこ。
そしててんぷらをおぼけが

小郡市では、「家読(うちどく)」という活動がすすんでいます。これには、家族みんなで本を読んで、読んだ本について楽しくおはなしをしてほしいとの願いがこめられています。「今日、学校の給食で『おぼけのてんぷら』のてんぷらがだよ！」とおはなししてみてくださいね。

「ものがたりレシピをいただきます！」

小郡市立図書館チラシ

空き部屋の有効利用

- 利用されていない会議室や視聴覚室については、自習席の利用が多い時期や玄関ホールでのイベント開催時などにおける自習スペースとして、柔軟に活用する。



▲札幌市中央図書館の読書室



▲伊万里市民図書館のグループ学習室



▲石狩市民図書館のグループ活動室



▲北区立中央図書館のグループ研究室

子どもの本のそばに ママ用本の配置

育児/家事/料理など主婦(夫)向けの書棚を配置



▲児童書コーナーに隣接した子育て支援コーナー
(さいたま市立武蔵浦和図書館)



▲子どもコーナーに隣接した女性コーナー
(伊万里市民図書館)

BGM・館内放送について

- BGMを気にならない程度に流す。
図書館は静かなところというイメージが強いが、BGM放送によるリラックス効果で居心地の良さを演出できる。また、静かな図書館では、子ども連れの保護者は来館しづらい。多少のざわつきや足音、読み聞かせの声など雑音を相殺するマスキング効果となる。



- 館内放送について、音が大きい、放送が長いという声がある。スピーカーの位置など工夫し、音量に気を付ける。お知らせ等は、緊急時や特別な時だけ放送する。



家庭の不要本の活用

- 図書館への書籍寄贈の制度を整備するほか、各家庭で不要となった書籍を除籍本コーナーで受け入れるなど、本を無駄にすることなく「本が市内で循環する」ようなまちづくりを進める。
- 例えば、本を置いている（置けそうな）公共施設やお店、お寺など、人の集まる場所で受け入れてもらう。小布施町の「まちじゅう図書館」や「まちライブラリー」に参加。



▲ 小布施町の「まちじゅう図書館」
元商店を書斎のように改修し
自宅を開放した図書館



▲ 喜沢中学校武道館
の一角に並べられた
教本

飲み物の持ち込み

- 小学校等では、熱中症予防に水分の補給が指導されている。閲覧室での飲食禁止を緩和し、水分補給という目的で、水筒などの栓ができる容器、ペットボトルなどの持ち込みを許可し、飲み物を飲めるように運用を変更する。



▲ キャップ付き
ペットボトル等
持ち込み可

(石狩市民図書館)▶



飲食コーナーのテーブルクロスや絵などの装飾

- カフェを設置するまでの改善策として、テーブルクロスや絵などに装飾をし、明るく清潔感のある雰囲気をつくる。



◀壁に布絵本

その他、イベント
のポスターや本の
紹介案内など



▲ ビニールのテーブルクロス ▲

図書館職員・司書と市民との交流

- 図書館職員・司書は、図書館を地域住民とのコミュニティの場、まちづくりの場としてとらえ、市民との交流に努める。
- 図書館司書という専門性と、隠れた個人の趣味・特技を引き出し、それを生かした講師として、講座やイベント等の開催を。例えば、太極拳、ストレッチ、布絵作り、折り紙、押し花、ポップづくり、落語など、その他、何でも可。
- 館長席は図書館来館者・利用者に顔の見える場所に配置し、住民との距離を縮めるなど、常に時々の市民要求をとらえ、図書館事業に生かす。
- 館長・司書等、一目で市民に職責が分かるように大きな親しみを持てるネームプレートを付ける。



▲「相談デスク」で対応
(伊万里市民図書館)



シリーズ まちとしよテラソで身体を動かそう！

○身体を動かそう！(阿こり・児童学館) ○子どもと一緒に身体を動かそう！

▲司書兼健康運動指導士が、
参考になる本の紹介や
正しい運動を指導。



館長▶
司書
スタッフ



▲小布施町立図書館の
入口にある館長席

イベントの開催

4月23日の子ども読書の日やクリスマスなどの行事を活用

- 人や文化との交流の場として、戸田らしいおもてなしを行うことを目的とする。
- 「子ども読書の日」や「開館記念日」にちなんだイベントや、季節の行事に合わせたイベントを市民と一緒に企画し、1階玄関ホール等を利用して、毎年1回以上開催。
- 読み聞かせやミニコンサートなどを企画する。
- カフェが設置されるまでの間、カフェこるぽなどのコラボレーションで出前カフェを営業。



▲▼当委員会主催のクリスマスイベント



中期(2016年・市制施行50周年まで)

- 図書館ビジョン計画の策定
- 1階玄関ホールの有効活用
- 人工池の有効活用
(喫煙所の移設)
- 敷地全体のリニューアル
- ブックスタート事業の拡大
- 返却ボックスと館内カートの
リニューアル
- 漫画について
- 出前図書館
- 図書館サポーター
- 国会図書館データ
- 図書館ホームページ
- 職員の視察研修費の充実

図書館ビジョン計画の策定

戸田市立図書館が今後も「すべての市民のための図書館」として愛されるとともに、広く世界への知的情報発信の場として、また、地域産業・経済の振興の場として、さらに、新たな地域コミュニティの中心的役割が果たせる公共施設として発展していくため、市民の意見を広く取り入れながら、理念・目標をかかげ、その達成のためにビジョンを策定することを求める。特に盛り込んでほしい内容は以下に示す。

- 市民との協働
- 学校との連携をさらに深めるためにデータの一元化と貸し出しの連携
- 図書館友好交流事業
- 人口規模に見合った図書購入費の充実
- 副館長制度の導入と司書資格者の配置

視察地	理念・目標
小布施町立図書館 まちとよテラス	「交流と創造を楽しむ、文化の拠点」
小郡市立図書館	「読書の街づくり日本一」 すべては子どもたちのために、そして私たちの未来のために
伊万里市民図書館	「伊万里をつくり・市民とともに育つ・市民の図書館」
剣淵町絵本の館	「絵本の里作り」
札幌市中央図書館	・市民の生活や活動に役立つ図書館 ・本・人・文化を結ぶ図書館 ・広く情報を発信し、市民とともに成長する図書館
石狩市民図書館	「図書館の中にまちを作る」 「これからの図書館が目指すもの－石狩市図書館ビジョン」
北区立中央図書館	利用者が主役・永く愛される・区民が活動する図書館
浦安市立中央図書館	・よろこびにつながる出会いの場を提供する図書館 ・人に人が出来ることを大切にすることが出来る図書館 ・未来につながる図書館 ・自治体、組織の成り立ちを理解する図書館 ・部署としての図書館

1階玄関ホールの有効活用

- 1階玄関ホールを、人の集うコミュニティの場として最大限に活用すること。
- 活用方法としては、カフェ・飲食スペースの設置、マガジンラックの設置、読み聞かせ・ミニコンサート等の市民の発表の場としての提供などが考えられる。また、その際に窓ガラスの景観を活かすこと。



▲札幌市中央図書館の
1階ロビーに設置された
「元気カフェ」



▲石狩市民図書館の
エントランスホール



▲武雄市図書館のカフェ ▼



▲「元気カフェ」で
くつろぐ委員



▲北区立中央図書館のカフェ



▲浦安市立中央図書館のカフェ



人工池の有効活用

(喫煙所の移設)

- 喫煙所を人工池のエリアから移設(平成26年9月20日移設済)し、人工池のエリアを水遊び可としたり、テーブルセットを設置したりすることで、市民の集う場所として活用すること。



▲東町公園の人工池



▲戸田市文化会館の屋外レストラン

敷地全体のリニューアル

- 館内だけでなく、市立図書館の敷地全体をリニューアルの対象とすること。
- 例えば、図書館敷地の入口から玄関までの空間を「人の立ち入れる芝生の庭」にすることで、立ち寄りたくなる図書館を演出する一助となるはずである。



▲北区立中央図書館前の芝生



▲結婚式場としても利用された伊万里市民図書館の中庭

ブックスタート事業の拡大



- ブックスタートの目的は、地域に生まれた全ての赤ちゃんと保護者に、絵本を介して親子が楽しく語り合う時間をもつことを応援する運動として進められてきた。戸田市でも2002年4月、県内でもいち早くブックスタートを開始し、福祉保健センターの4か月児健診の会場で、毎月、図書館職員が1組ずつの親子に趣旨を説明し、絵本の読み聞かせを行い、絵本や参考資料を差し上げている。イギリスで始まったブックスタートは、乳児がいる家庭に8か月検診の際に本を贈り、親と子が一緒に本に触れる機会を促進するという目的で、18か月、3歳の幼児にも対象を拡大している。
- 「マタニティ・ブックスタート」は、戸田市でも行っていて、絵本の大切さや本の紹介をしている。健診時の落ち着かない雰囲気では、絵本が子育てにどう活かせるか大切なことはなかなか伝えきれないとの声もある。マタニティの時期にゆったりとした中で、絵本をプレゼントするブックスタートを行ってはどうか。
- セカンドブックは、おはなし会のような場に参加する機会のない子ども達も絵本を手にすることができる点で、むしろそのような機会に恵まれない環境の子どもたちにこそ絵本を手渡したいと考える。また、セカンドブックと同時に図書カードを発行し、図書館利用への勧誘を図るとともに、読書ダイアリーを発行しプレゼントする（福岡県小郡市で取り組んでおり、図書館利用率がアップしている）。



▲浦安市立図書館の読書手帳

▼小郡市立図書館の
うちどくダイアリー



返却ボックスと館内カート のリニューアル

- 駅前に設置してある図書返却ボックスを、かわいいデザイン性のある物に変える。図書館のお知らせ等も掲示し、情報発信できるものにして、図書館をアピールすること。デザインは、図書館キャラクターを返却ボックスにペイントするなどの工夫をする。



▲ゴミ箱と間違えられた戸田市の返却ボックス



▲横浜市山内図書館の返却ボックス



◀小布施町立図書館のコンパクトで使いやすいカート

漫画について

- 漫画やアニメは日本の文化だと言われている。漫画に関して、市民からの要望も多いため、子供に人気の漫画や歴史漫画など、図書館本館には一定量の漫画本があってもよいのではないかと。京都国際マンガミュージアムなど参考にしてほしい。
- 漫画本に関しては貸出不可とする。

出前図書館

- 高齢者・病院入院患者支援として、図書館に来館できない人のために、出前図書での病院巡回、おはなし会を実施する。
- 病院や在宅高齢者、障がい者等、図書館に出向けない方を対象とした(ボランティアによる)本の(有償)宅配サービスの実施を検討する。

図書館サポーター

- 開館記念日に「図書館祭り」を開催することで市民と図書館との交流を図り、また、市民大学の卒業生などの人材を運営の軸とすることで図書館サポーターの育成を図ること。



▲伊万里市民図書館のサポーター「図書館フレンズいまり」の専用スペース



▲北区立中央図書館の「区民活動コーナー」

国会図書館データ

- 国立国会図書館がデジタル化した資料のうち絶版等の理由で入手が困難な資料について、図書館で画像の閲覧等ができる「図書館向けデジタル化資料送信サービス」に参加すること。その際、閲覧のみでなく複写サービスも行うこと。

国立国会図書館

100万冊をあなたの街へ
デジタル化資料送信サービス
平成26年1月開始

平成26年1月から、国立国会図書館がデジタル化資料の全国図書館等に提供できるようになりました。国立国会図書館がデジタル化した資料は、その多くが国立国会図書館の施設内で利用が限られておりましたが、平成26年のデジタル化資料送信サービスにより、全国の図書館で利用できるようになりました。また、本サービスを通じて、資料の提供を受ける図書館の数を増やすことが期待されます。

※国立国会図書館に本館申請を行い、承認を受けた図書館のみが利用できます。
※利用範囲、大学図書館など、資料提供目的や資料の提供を受ける図書館等の制限があります。

- 1 100万冊以上のデジタル化資料の閲覧・複写を利用者に提供できます。
- 2 図書館間貸出しサービスの対象とならない資料（和雑誌、発行年代の古い和図書など）も利用できます。
- 3 資料の移送にかかる時間や返却期などの制約がなく、遠隔地においても利用できます。

利用できる資料

国立国会図書館デジタル化資料（Digital ID付）に指定された資料のうち、次の資料が利用できます。

図書	昭和49年以前発行（1）昭和50年以前発行のもの、複製発行で入手困難なもの
雑誌	昭和49年以前発行（2）複製発行でないもの
電子論文	昭和49年以前発行（3）複製発行でないもの

図書館ホームページ

- 戸田市立図書館ホームページの検索機能やリクエスト機能などについて、利用者目線での一層の機能改善を図ること。
- 事業やイベントの「活動報告」をトップページの目立つ場所に配置するなど、楽しさが伝わるようなPRを考えること。



▲札幌市中央図書館のホームページ

職員の視察研修費の充実

戸田市議会・常任委員会では、年間研究テーマを定め、先進地へ出向き視察研修できる予算が確保されている。近年、図書館のあり方が大きく変化してきているなか、職員・司書への先進地視察研修費の充実を図ることを求める。



▲石狩市民図書館



▲小布施町立図書館



▲伊万里市民図書館の
「おはなしのへや」

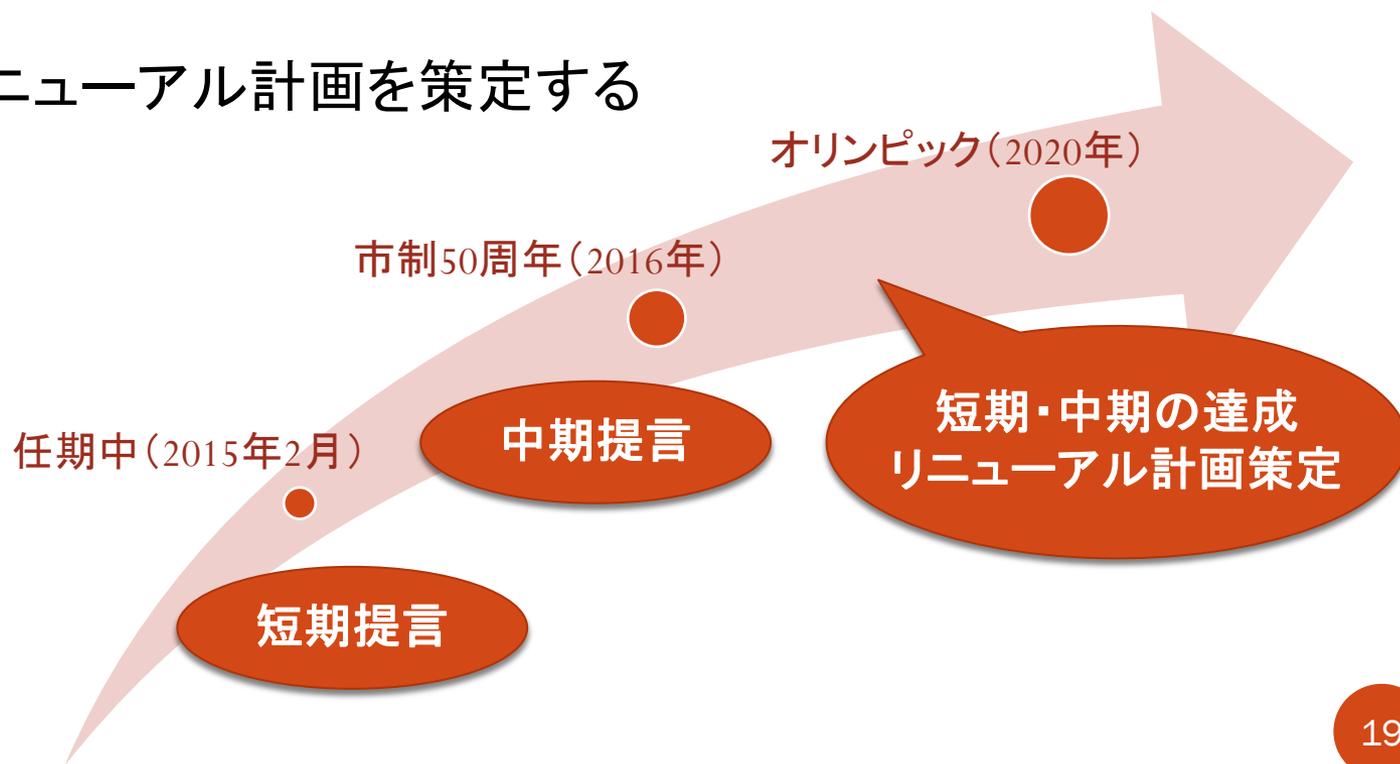


▲図書館職員と視察した
浦安市立中央図書館

長期（2020年・東京オリンピックまでに）

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年までに、

- 短期提言および中期提言を達成させる
- 施設リニューアル計画を策定する



施設リニューアル計画①（館内レイアウト）

- 木材の活用、くつろげる椅子の増設、書棚の高さの抑制などにより、ぬくもりの感じられる空間を演出する。
- 窓に向かった机を設置するなど、既存の窓を活かし、陽の光を上手に取り入れる。
- 利用者の視点に立ち、書棚テーマの関連性を向上させる。
- 机や椅子に創意工夫を図り、適度なプライベート空間を確保する。
- 青少年向けの書籍・雑誌やスペースを充実させる。



▲▼浦安市立中央図書館



▲伊万里市民図書館



▲札幌市中央図書館

施設リニューアル計画②（こども図書室）

本館1階の事務室を、「こども図書室」に改修する。

- こども図書カウンターを設置
- 絵本読み聞かせ部屋の設置
- 絵本の役割を大切にし、絵本のまちとの交流を行う
- ベビーカー一体型カートの導入



▲伊万里市民図書館



▲浦安市立中央図書館



▲剣淵町絵本の館



▲北区立中央図書館

施設リニューアル計画③（戸田資料室）

本館2階の郷土資料スペースを、「戸田資料室」として本館3階の講座室に移設し、郷土博物館やアーカイブズセンターとの機能連携を図る。



▲北区立中央図書館



▲伊万里市民図書館

文教・建設常任委員会 委員会活動

年 月 日	活 動 内 容
平成25年 5月 9日	長野県小布施町立図書館(まちとしょテラソ) 視察
平成25年 5月27日	図書館・郷土博物館 市内視察
平成25年12月21日	上戸田分室・下戸田分室 市内視察
	図書館クリスマスイベント(講演会・ミニコンサート) 開催
平成26年 1月27日	福岡県小郡市立図書館 視察
平成26年 1月28日	佐賀県伊万里市民図書館 視察
	佐賀県武雄市図書館 見学
平成26年 5月12日	北海道札幌市中央図書館 視察
平成26年 5月13日	北海道剣淵町 絵本の館 視察
平成26年 5月14日	北海道石狩市民図書館 視察
平成26年11月 6日	東京都北区立中央図書館 視察
平成26年12月20日	図書館クリスマスイベント(ビブリオバトル・コンサート) 開催
平成27年 1月16日	千葉県浦安市立中央図書館 視察



文教・建設常任委員会

委員長	斎藤 直子
副委員長	花井 伸子
委員	三輪 なお子
委員	真木 大輔
委員	三浦 芳一
委員	秋元 良夫
委員	栗原 隆司